



# NAM ニュース



今回のテーマ

## 栄養不良と社会行動変容コミュニケーション(SBCC)

栄養改善のために母親や家族の行動を変容することが不可欠です。行動科学の研究から人間の行動は知識だけでは変わらないことがわかっています。行動は知識以外に、周辺環境(家族、コミュニティ、施設、政策、文化など)に大きく影響を受けるからです、そこで、行動変容を妨げている要因を様々なレベルで分析し、それに対応した総合的な社会行動変容戦略(Social Behaviour Change Communication Strategy)の必要性が明らかになっています。具体的には、子どもの父親、おばあちゃん、コミュニティのリーダー、宗教関係者、学校、保健施設、食品販売業者、行政関係者、などに対するメッセージをカウンセリング、グループ活動、集会、メディアなどの多岐にわたる方法を通して伝達してゆきます。

### ウガンダNILEプロジェクト

2023年11月、JICA草の根パートナーの支援により、3年間の「西ナイル栄養生計改善(NILE)プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、ウガンダ北部西ナイル州にあるアジュマニ難民居住区とその收容コミュニティにおいて、5才未満児、妊産婦授乳婦、思春期女性の栄養状態と生計を改善することを目指しています。詳細は裏面をご覧ください。

### 栄養調査



2023年6～8月に国際NGOのADRAカナダがラオスとカンボジアで実施したコミュニティベースの栄養事業のインパクト評価を行いました。現地で実施された量的な調査、文献、インタビュー、などを通して2か国それぞれのアプローチの違いと有効性やインパクトを評価し、報告書のまとめるとともに、ウェビナーによる結果発表ワークショップを行いました。

また、イエメンでMedairが実施している栄養事業において実施した知識、習慣、カバー率(KPC)調査のためのデータ分析を行いました。イエメンは世界中でもっとも栄養不良率が高い国であり、ここで保健、栄養、水と衛生の状況を明らかにしました。

### インターン現地受け入れ

大学院生のインターンをウガンダに受け入れ、調査の協力をしました。調査結果は「ウガンダ難民地区における栄養不良リスク者の食に関する状況、NGO 団体との関係」として発表されています。



### 講義「YOUPLID」

GLMインスティテュートが実施している。国際協力プランナー入門 YOUPLID (ユープリッド) は、未来のグローバルリーダーの育成を目指す事業の一つです。NAMはこのなかでウガンダ事業とPositive Deviancelについて講義を行いました。

### 研修ワークショップ

第10回目のワークショップ【国際栄養プロジェクトの現状と課題】を実施しました。「西ナイル栄養改善生計向上(NILE)プロジェクト報告と調査手法」をテーマとし、プロジェクトの進捗報告、ベースライン調査手法や調査ツールの紹介、そして長期派遣スタッフからのレポートを行いました。世界中から参加があり活発な議論が交わされました。



### グローバルフェスタ2023出展

2023年9月30日と10月1日に東京国際フォーラムにて開催されたグローバルフェスタJAPAN2023にブース出展しました。NAMの栄養プロジェクトを紹介や、アクティビティとしてMUACテープを用いた栄養不良児の特定方法を参加者に理解してもらいました。



### 中学生職場訪問

東京女学館中学校の生徒5名がNAMを訪問しました。栄養不良のワークショップ、質疑応答などを行いました。後日実施された発表会では学んだことを分かりやすくクラスメイトや保護者に説明していただきました。

### 出前授業(国際理解教育)



墨田区立押上小学校にて「食品ロスと世界のつながり」をテーマに出前授業を実施しました。3年生の児童を対象に日本ではたくさんの食品ロスが出ている一方で、世界では栄養不良が課題となっている状況を学び、その対策について考えてもらいました。授業後、児童たちから食品ロスを減らそうと早速行動に移したという声が寄せられました。

### 今後の計画

ウガンダでのNILEプロジェクトでは栄養活動を中心に農業支援と収入創出活動を組み合わせて事業展開します。また、研修や栄養調査捕飛か、出前授業をより積極的に多くの学校で実施してゆきたいと思っています。

# ウガンダ国 西ナイル栄養改善生計向上 (NILE)プロジェクト



ウガンダは“世界一難民に寛容な国”といわれ、南スーダンやコンゴ民主共和国から多くの難民を受け入れています。移動や就労の自由、保健・教育の提供など、難民に対して多くの支援を行っています。しかし、難民の生活は厳しく栄養不良が大きな課題です。そこで、NAMは2023年11月にJICA草の根パートナーの支援を受け、「西ナイル栄養生計改善(NILE)プロジェクト」を開始しました。この3年間のプロジェクトは、ウガンダ北部の西ナイル州にあるアジュマニ難民居住区とその受け入れコミュニティを対象に、5歳未満の子ども、妊産婦、授乳婦、思春期の女性の栄養状態と生計を改善することを目指しています。現地のNGOであるPACHEDOと協力して、プロジェクトを実施しています。



## プロジェクトのフレームワーク

5才未満児、妊産婦・授乳婦、思春期女性の栄養状態と生計の持続的改善

栄養に関する知識・習慣改善の向上と栄養改善活動へのアクセス改善



ケアグループ (CG) を通じた健康な食事と育児ケアの知識普及  
CGボランティアによる栄養教育活動

社会行動変容コミュニケーション (SBCC) 戦略の実践  
バリア分析SBCC戦略策定と実践

世帯における生計基盤と就労機会が改善する。  
自助グループによる収入向上活動

家庭の生計基盤と就労機会の改善  
家庭菜園と小型家畜飼育普及

県行政の調整能力向上  
県調整委員会へ経験共有スーパービジョン

## これまでの活動

### 世帯リスト作成



戸籍や住民票など、住人のデータがない地域では、プロジェクト対象者の人数も住所も自分で調べないと分かりません。気温30度の中、対象4地域計4864世帯を一軒一軒訪問し、プロジェクト対象者の人数や住所のリストを作成しました。

### ベースライン調査



ベースライン調査は、プロジェクト開始前の状況を把握するための調査です。母子の栄養状態、乳幼児の食事習慣、水と衛生状況、女性のエンパワメントなどについて調べました。これらの情報は、栄養状態に大きく影響を与える要素として重要です。

### ケアグループ(CG) 構成員の選出



NILEプロジェクトでは、スタッフが直接お母さん達に栄養教育をするのではなく、スタッフから研修を受けた地域の母親リーダーがCGに栄養教育を実施します。CGの構成員となるCGプロモーター16名、CGリーダー128名、CGボランティア1,536名が選出されました。